

2021年8月13日

本社所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目 23 番 5 号
 上場会社名 株式会社サニーサイドアップグループ
 代表者 代表取締役社長 次原 悦子
 (コード番号: 2180)
 問合せ先 取締役 コーポレート本部 本部長 相田 俊充
 電話番号 03-6894-3232

2021年6月期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2021年5月14日に公表しました2021年6月期(2020年7月1日~2021年6月30日)の通期業績予想と本日公表の実績値に差異が発生しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年6月期通期連結業績予想値の修正(2020年7月1日~2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
単位	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回公表予想 (A)	14,500	320	420	170	11.28
実績値 (B)	15,356	519	666	298	19.83
増減額 (B-A)	856	199	246	128	—
増減率	5.9%	62.3%	58.7%	75.7%	—
(参考)前期実績 (2020年6月期)	14,094	420	275	▲210	▲13.97

2. 差異の理由

(売上高)

当社グループの基幹事業である「マーケティング&コミュニケーション事業(M&C事業)」では、前回公表の業績予想について、公表時点で受注が確定している案件をベースに試算をしておりました。これに対し、変容する流行や顧客ニーズに適應したサービスの提供が新規顧客の獲得やアップセルを牽引し、キャストイング・インフルエンサーマーケティングなどの領域で受注が予想値を大きく上回ることとなりました。

結果として売上高は前回予想を5.9%上回り、15,356百万円となりました。

(営業利益)

「M&C事業」の売上増加に伴う増益の他、「フードブランディング事業(FB事業)」では、コロナ禍の店舗運営における人員配置の工夫により販管コストが縮小され、営業利益が増加しました。全社傾向としても販管コストの削減効果により営業利益が微増の傾向にあり、結果として営業利益は前回予想を62.3%上回り、519百万円となりました。

(経常利益)

営業利益の差異に加え、新型コロナウイルス感染症に関する助成金収入を約 155 百万円計上した結果、経常利益は前回予想を 58.7%上回り、666 百万円となりました。

(親会社株主に帰属する当期純利益)

経常利益の差異の原因に加え、「FB事業」でbills Waikikiにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けた米国中小企業向けの融資である「給与保護プログラム（Paycheck Protection Program、通称PPP）」に関わる債務免除益として約 46 百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を 75.7%上回り、298 百万円となりました。

以上

(本件に関するお問合せ先)

株式会社サニーサイドアップグループ コーポレート本部 経営管理部 経営企画グループ TEL 03-6894-2241